

実施報告書-1

令和 3年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 大 田 選 択

学校名 大田区 立 多摩川小学校

1 事業目的 協議会名 多摩川小学校グリーンサポート委員会

・学校と地域が連携・協働した芝生の維持・管理及び活用等の仕組みづくりを推進することを通して、子どもの心身の成長・発達や地域の教育力向上を目指す。
・ポット苗づくりを通して、ものづくり教育や命の教育の実践をする。

2 主な取組と成果

《取組》
・毎週水曜日の芝刈りは、感染状況を見ながら実施をした。今年度は、全学年が実施することができ、参加人数も保護者・児童を合わせて800人を超えた。また、施設利用をしている団体(サッカー・野球・ラグビー・剣道等)が練習前に芝刈りを行い、地域の活動へと広がってきている。
・「グリーン大作戦」は、2年ぶりに「ポット苗づくり」から取り組むことができた。担当する4・5年生とも昨年の経験がないままのスタートではあったが、兄弟関係等でこの活動について間接的に知っている児童が多く興味をもって取り組むことができた。
・今年度は、一昨年前と同様にできるだけ多くの芝生を生かした活動を取り入れるように働きかけた。特に、緊急事態宣言が解除になってからは、おやじの会によるふわふわ風船飛ばしやルービックキューブによるオブジェ作りなどを行った。今後、卒業生に向けて「芝生で撮影会」を企画している。
・多摩川グリーンサポート委員会の定例会議を年4回実施し、芝生の維持管理状態や活動方法を共通理解した。
《成果》
・長年の努力が実り、現在の芝の状況は最高の状態である。夏芝の根がしっかり張り、土壌も柔らかくなり児童の活動にも最高の状態である。各関係団体からも、都内屈指の校庭芝生であると評価されている。
・コロナの影響でイベントについては開始が遅くなったが、密を避ける状態で実施することができた。
・芝の性能が良いため、毎週水曜日の「はだしデー」は未実施である。また、「ポット苗作り」を再開し、子どもの夏の思い出づくりにも貢献した。

3 取組内容

☆「ポット苗作り」
・5月13日
・4, 5年児童(201名)
☆「グリーン大作戦(芝捕植作業)」
・6月25日
・4・5年生、他学年・保護者自由参加(212名)
☆芝を活用した活動
・たまパパ(おやじの会)イベント
【ふわふわ風船とばし・ルービックキューブ・なわとび教室】
・芝刈り&交流会
・オリパラ教育
・はだしデー(毎週水曜日)

2年ぶりにポット苗作りを実施することができた。一昨年同様2学年で実施した。今年度は、4・5年生ともに初めての経験となっていたが、捕植作業には参加していた児童が多かったため、「ポット苗作り」を大変楽しみにしている児童が多かった。今後の感染状況を見ながら、児童から「グリーン大作戦実行委員」を募り、児童の自治的な活動として広げていきたいと考えている。

今年度は、緊急事態宣言が出されている期間を除き芝刈りを実施した。芝刈り後の交流としては、感染拡大を防ぐために飲食は禁止にしたが、通常の活動は実施した。
地域の団体では、サッカーチームに加え、校庭を週末使用するラグビーチームと野球チームが芝刈り活動に参加するようになり、活動の輪が広がった。



4 今後について

今後の取り組み
・芝刈りリーダーの育成を行い、だれもができる芝管理を目指す。
・グリーン大作戦を代表委員会の児童が中心に進め、児童の自主的な活動の部分を広げていく。
・地域に校庭芝生化をPRし、校庭の活用を促していく。

上記の取り組みは、継続していくが今後最も問題となっているのは、来年度・再来年度着工予定の大規模外壁工事の実施である。これにより、校庭の1/4が足場や資材置き場等で覆われ、資材運搬用のトラックが入るため、各年2か月ずつ芝生を鉄板で覆うことも計画されている。その後の芝生再生をどのように行うかが今後の最大の課題となっている。